

- ◆**学校名** 守口市立梶中学校 守口市立第一中学校 寝屋川市立第四中学校 交野市立第一中学校
- ◆**主題名** 生命の尊重 **道徳の内容** D－生命の尊さ
- ◆**ねらい** 万善簿の黒丸十個に込められた淡窓の思いにより変化した祐介を通して、生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する道徳的心情を養う。

◎ 中心的な発問

キミばあちゃんの手をぐっと握りしめながら祐介はどんなことを考えていたのだろう。

◆ 本時の展開

|        | 学習活動  | 発問と予想される子どもの反応   | 指導上の留意点  |
|--------|---|--|--|
| 導<br>入 | ◎自分のことについて考える   | 人間にとって一番大事なものは何でしょうか。<br>・家族 ・命 ・お金 ・友だち   | ○大事なものの全てが命がないと実感できないことだと感じさせる。  |
| 展<br>開 | ◎資料を黙読する。<br><br>◎病弱で入院を繰り返す祐介の心情を考える。<br><br>◎生きる事の意味について考えを深める祐介の気持ちを考える。 | 祐介が震える声になったのはどんな気持ちになったからだろう。<br>・親に心配や迷惑をかけているから苦しい。<br>・いつ治るかわからないから不安<br>・一生病院を出たり入ったりするのかな<br>・何のために生きているかわからない<br>・自分の将来が想像できない<br><br>キミばあちゃんの手をぐっと握りしめながら祐介はどんなことを考えていたのだろう。<br>・淡窓のこと教えてくれてありがとう。<br>・自分は病気のことを理由に何もしようとしてなかった。<br>・自分にも出来ることを探していきたい<br>・毎日を大切に頑張りたい<br>・自分は弱かった、甘かった<br>・淡窓のような生き方をしたい<br>→どんな生き方？ | ○ゆっくりと範読する。<br><br>○入院を繰り返すことで不安や心苦しさを感している祐介の気持ちに共感させる。<br>出来ないと思っていることが何か、全てが病弱のせいで生きる意味すら失っていることに気づかせる。<br><br>○祐介がぐっと力を入れたときの熱い気持ちをじっくりと考えさせる。 |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>◎問返 黒丸十個に込められた淡窓の想いを考える。</p> <p>◎淡窓の想いを考えた後に、もう一度祐介の気持ちを考える。</p> | <p><b>問返①：権藤さんが亡くなった時、なんで淡窓は黒丸十個もつけたんだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めっちゃ悲しかったから→何が悲しいの？</li> <li>・亡くなったらもう会えないから</li> <li>・もっと出来る事があったのに・・・<br/>→淡窓も病気でお見舞いに行けなかったのはしょうがないことなのに何で？</li> <li>・頑張っていた権藤さんのためにもっと出来る事があった</li> <li>・少し我慢すればお見舞いも行けたかもしれないのに後回しにしてしまった</li> <li>・黒丸1つでは表しきれない後悔<br/>→どういうこと？</li> <li>・悲しみを絶対に忘れないようにするため</li> <li>・次同じような状況になったときは、絶対に自分が今出来る事をしようという決意</li> </ul> <p><b>キミばあちゃんの手をぐっと握りしめながら祐介はどんなことを考えていたのだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命を大切にしよう</li> <li>・病気を理由に出来ないと決めつけて逃げてしまっていた</li> <li>・どんな状況でも、自分に出来る事を見つけて一生懸命生きていきたい</li> <li>・家族やキミばあちゃん、友達が想ってくれている分、自分も返していけるようになりたい</li> <li>・限りある命を大切にしていきたい</li> </ul> | <p>○黒丸十個つけた淡窓を通して、生命の尊さ、自分だけでなく他者の生命も大切に想う気持ちを考えさせる。</p> <p><b>問返②：問返①で後悔の想いばかり意見が出た時に・・・</b></p> <p>「人柄がわかるね」って淡窓の人柄って？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい ・弟子想い</li> <li>・塾を大切に想っている</li> </ul> <p>・自分のことより他の人のことを思いやる温かさを持っている</p> <p>○淡窓の他者の生命も尊重している想いをじっくりと考えた後、もう一度祐介の想いを深めて考えさせる。</p> <p>どのように生きていくことが、自他の生命の尊重につながるか考えさせる。</p> <p><b>&lt;評価&gt;</b><br/>命の尊さを理解したか<br/>生き方について考える。<br/>(評価方法)<br/>ワークシートに書いた内容、発言を評価する。<br/>&lt;評価をいかした支援&gt;<br/>道徳通信・学級通信等に載せ、振り返りを行う。</p> |
| <p><b>終末</b> ◎本字の学習を振り返り、感想を書く</p>                                  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・余韻を残して終わる</li> <li>・感想をまとめ、通信にする</li> </ul>  |

◆**評価**

生命の尊さを理解し、かけがえのない生命を精一杯生きようとする道徳的実践意欲を培えたか？

## 他人の命

- ・ 自分の命の大切さに気づいていたから権藤さんの命も大切に思った
- ・ 他人の命も自分と同じように重く考えた
- ・



## 自分自身の命

- ・ 自分の命を大切にする
- ・ 自分にもできることを探していきたい
- ・ 毎日がんばっていきたい。
- ・ 自分は弱かった
- ・ 自分は甘かった

キミばあちゃんの手を

ぐっと握りしめた

## 権藤さんが

### 亡くなった時

- ・ 黒丸1つでは表しきれない後悔
- ・ 死んでしまったことの悲しみの大きさ
- ・ とても悲しかったから
- ・ もっとできたことがあったん



## 淡窓の話

- ・ 生き方を聞いて頑張る気持ちになった
- ・ 命いっぱい生きようと思った
- ・ 同じ境遇で頑張っている人がいたから励みになった

|                               |            |
|-------------------------------|------------|
| キミばあちゃんの <small>つばき</small> 椿 | 組 番<br>名 前 |
|-------------------------------|------------|

1 ● きみキミばあちゃんのて手をぐっとにぎ握りしめながらゆうすけ祐介はどんなことをかんが考えていたのだろう。

---

---

---

---

2 ● きみキミばあちゃんのて手をぐっとにぎ握りしめながらゆうすけ祐介はどんなことをかんが考えていたのだろう。

---

---

---

---

3 ●

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

つぎ 次の質問について○を付けてください。

|   |  |        |     |         |      |
|---|--|--------|-----|---------|------|
| 1 | <small>ふか</small> 深く <small>かんが</small> 考 える <small>ばめん</small> 場面 があったか | とてもあった | あった | あまりなかった | なかった |
|   |  | 4      | 3   | 2       | 1    |
| 2 | <small>あた</small> 新 しい <small>はっけん</small> 発 見 があったか                     | とてもあった | あった | あまりなかった | なかった |
|   |  | 4      | 3   | 2       | 1    |
| 3 | <small>しり</small> 資 料 は わ か り や す かつ た か                                 | とてもわかる | わかる | わかりにくい  | わからな |
|   |  | い<br>4 | 3   | 2       | 1    |

## ◆研究のまとめ

### ○授業実践について、チームとしてのまとめ

- ・本授業のねらいである「自他の生命を尊重する」する部分について、難しさを感じた。生徒のワークシートの内容（本時の感想）では、「自分や他人の生命を大事にしなければならない」という内容の記述が半数ほどで、残りの半数については「自分や他人を大切にできる人になりたい」という内容の記述が多く、「生命を尊重する」というねらいに迫る授業展開の難しさや、他の生命についても、生徒から自発的に出た発言というより教師からの誘導によって出た発言が多かった。
- ・読み物の内容によっては生徒の実態に応じたものでないと、授業展開が困難である。
- ・本時のねらいを日常の生活に少しでも生かすために、道德通信や学級通信などで、振り返りなどを行うことが必要である。

### ○道德の評価についての提言

#### ●ワークシート

- ・「自分のいのちが大切」という理解にとどまらず、「他者のいのち」の大切さの気づきが見られた。
- ・広瀬淡窓のような人になりたい、優しい人になりたいととらえた生徒も見られたため、本時のねらいに迫った感想、振り返りがかけているものについて評価した。

#### ●授業中の発言、つぶやき

- ・ワークシートに書くことが難しくても、発言やつぶやきから本時の価値への気づきが見られた。
- ・今まで備わっていなかった新たな理解を得た生徒、文章を読んで気づいた生徒、授業を通して気づいた生徒、もともとその感覚が備わっていた生徒、ワークシートで見られない到達度を授業内の発言、つぶやきから評価した。

#### ●評価を実施するにあたって

- ・評価を行う場合、生徒によっては自分の想いを表現できない、書けない生徒も多く、そのような生徒のために一人ひとりの発言内容を把握する必要がある。
- ・本時のねらいを日常の生活に少しでも生かすために、道德通信や学級通信などで、振り返りなどを行うことが必要である。

## 【各校での実践の記録】

### ◆実施学年（2年）

### ◆評価を位置づけた授業実践の分析

#### ○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

- ・ 班活動で自らの考えを積極的に交流しようとする姿。
- ・ ワークシートでは流れやねらいに沿った自分の考えをもとうとしている。  
（流れに沿っていないものでも、本文から読み取ることができるものでも可とした）
- ・ 新たな気づきや日頃の自分自身の言動を振り返らせるための声掛け。

#### ○成果と課題

- ・ 生徒の実態に応じた課題設定。
- ・ ねらいと日常生活をつなげること。

実践校名（守口市立梶中学校）

## ◆実施学年（2年）

### ◆評価を位置づけた授業実践の分析

#### ○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

・狙いとする価値を「かけがえのない自他の生命尊重」にすることをチームで決め、順次授業実践を進めた。既に実践した学校より、「他人の生命を大切にすることになかなか思いをはせることが難しかった」と聞いていたので、導入において、「生命」について考えることをつけて焦点がぶれないようにした。一度目の中心発問では「自分の命を大切にしなければならない」「広瀬淡窓のように、病弱でも頑張っている人も居るのだから、自分も負けずにがんばりたいと思った」「自分は甘かったんだと痛感した」など、自分の弱さに気づき、命いっぱい生きようとする姿に共感し、自省する意見が多数みられた。しかし、万籥箒をつけ教え子の命をも大切に扱っている淡窓の姿に触れた後の二回目の中心発問では、クラス全体が一瞬とまり生徒一人ひとりが一生懸命考える姿が見られた。そして「自分と同じように他人の命も大切にしようと思った」「他人にも優しくしてあげようと思った」など、自分以外の人のことへの思いをもった生徒もいた。考えがうまくまとめることができず、筆がとまってしまっていた生徒も、他の生徒の意見を聞き、それをヒントにして自分の考えをまとめていた様子うかがえた。ワークシートに一回目の中心発問、二回目の中心発問をそれぞれ記入する欄を設けていたので、自分の考えが深まったり、変わったり、視点が広がった様子が生徒自身もよくわかるようになっていたところは、とてもよかった。

#### ○成果と課題

評価をするためには、生徒ひとりひとりを平等に見る必要がある。また、生徒に説明する際にしっかりとその根拠を示せるように、ワークシートや道徳ノートなど、きちんと形が残せるものが望ましいのではないか。そのワークシートの記述に変化が見られるか、つまりねらいとする価値にいかにか迫り考えられたか、あるいは、他者の意見を参考にして考えが深まったり視野が広がった部分がみられるかで評価出来るのではないかと考える。その変化を読み取るために、授業計画段階において、どこでどのように読み取るか、しっかりと準備をしておくことが非常に大切であると感じた。

実践校名（寝屋川市立第四中学校）

## ◆実施学年（2年）

### ◆評価を位置づけた授業実践の分析

#### ○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

##### ○発問に対しての発言から

- ・問返①に「淡窓の悔しさ」についての発言が多かったため、問返②の「人柄について」を行うことによって、自分の悔しさだけでなく、他への「優しさや、温かさ」という発言が生徒より出てきた。

##### ○ワークシートの内容（今日の授業の振り返り）から

- ・自分の命だけでなく他人の命について考え、自他共に命を大事にしようという内容の記述がかけられているかどうか。

#### ○成果と課題

- ・生徒のワークシートの内容（今日の授業の振り返り）で、「自他共に命を大事にしなければならない」という記述が半数ほどで、残りの半数については「自他共に大切にできる人になりたい」という記述が多く、「生命の尊さ」という意味を伝えきれなかったことが、課題であった。また、問返②から二回目の中心発問への展開の中で、淡窓の優しさだけが生徒の中に一番印象に残った記述も多数あり、授業の展開力が課題である。また、内容把握の部分も踏まえて、二年生よりもより内面的に成長している三年生で行った方が良い。

### ◆評価に用いた資料サンプル（子どものワークシートなど）

「今まで以上に他人の命も自分の命も大切にしなければならないと思った。」

「自分のことだけじゃなく、他人のことも大切にでき人は誰からも愛される。」

「自分のことを大切に思うことで、他人のことを大切に思えることに気がついた。」

「広瀬淡窓は他人を思いやることのできる本当に良い人なのだろうと思った」

実践校名（交野市立第一中学校）